



宮司つし第百十八号

彦島八幡宮 宮司 ニュース

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十四年一月二十一日

◇宮司の柴田です。

平成二十四年の清々しき新年を寿ぎ、謹んで、お慶びを申し上げます。

◇午前零時半の福浦金刀比羅宮の歳旦祭が、新年最初の神事でした。今年も、茶飯事(さはんじ)となつてしまいました。霧(みぞれ)まじりの幕開けとなつてしまいました。

午前一時には、田の首八幡宮の歳旦祭、さらには、午前六時半に貴布禰神社、午前八時の本宮(ほんぐう)の歳旦祭と厳肅(げんしゆく)に御奉仕申し上げました。御本社(ごほん)の歳旦祭の奉仕を終えた頃から、天候も回復し、例年になく好天に恵まれましたね。

◇昨年末から帰省していた大学二年生の長男と迎春準備を含め、正月五日までの祭事を一緒に御奉仕上げました。祭典奉仕の作法を、「祭式(さいしき)」という授業で履修(りしゅう)した、習い始めたばかりで、悪戦苦闘しながら、一生懸命に奉仕する姿は、やはり、「未熟さゆえのひたむきさ」で、我々を含め、先賢(せんけん)神職が歩んできた道でもあります。愚息(ぐそく)のさ

らなる、奮闘努力を大いに期するものであります。すでに、成人しておりますので、

祭典後の「直会(なおらい)」の席に着きましたが、こちらの方は、祖父である先代典行宮司の遺伝子(DNA)を受け継いでいるように、総代さんから、「いい飲みっぷり」だと、お褒(ほ)めの言葉を頂いたようです。

昨年は、京都の松尾大社の実習、来年は、伊勢の神宮さんの実習が予定されていますし、再来年は、卒業でありますから、親子で御奉仕できるチャンスは、今年だけだったのですね。親子三代で神明奉仕するのが、先代典行宮司の切なる願いだったのですが、その願いは叶いませんでしたが、きつと喜んでくれている事だと思えます。親子で奉仕できる幸せをかみしめた新年でした。

◇今年も、約七百五十通の年賀状をお出ししました。表の住所と御芳名については、文明の利器である「からくり印刷機」、パソコンの「筆ぐるめ」というソフトを大いに活用させて頂きました。しかし、裏面は、水荳(みずくき)の跡が、麗しくはありませんが、墨書させ

て頂きました。全部で十五種類自筆したものを、三十枚ないし四十枚程度、オフセットの印刷機、輪転機で印刷しました。

◇自筆したのは、「大和心」「神喜地喜人喜」「則天去私」「日新日清日進」「飛龍乗雲」「天長地久」「柏葉寿」「日々是好日」「四海生春風」「恭頌新祈」「賀新正」「延寿万歳」「祥雲瑞氣」「麗新」「三感四恩」の十五種類です。特に、「神喜地喜人喜」を一番多く印刷しました。

「神喜地喜人喜」

◇「社会」という語源をご存じでしょうか。実は、年に一回、村の鎮守の神様の社(やしろ)に集まり、その村の重要な取り決めを話し合った、つまり、「社」で「会う」事だそうです。

これからも、平成元年の春弥生、三月に、権禰宜(ごんねぎ)を仰せつかった初心、未熟さゆえのひたむきさを忘れずに、真心込めてご奉仕申し上げたいと思ひまして、したためたわけですね。神様を喜ばす心で、ご奉仕申し上げ、参拝者を始め地域の皆様方が笑み榮えて、さらには、この彦島が運命共同体としての地域社会になるよう、社会の語源に近づけるよう努力したいという決意の表明であります。

◇我々神職は、常に、白衣(はくい)を身に着け、袴(はかま)を穿(は)き、ひとたび祭典

奉仕に臨(のぞ)めば、さらに、狩衣(かりぎぬ)を着装(ちやくそう)します。袴(はかま)も左右の紐(ひも)を結び、狩衣も、石帯(せきたい)とよばれる帯の左と右を結びます。一本の帯は、左(火足)Ⅱひだり、陽、右(水極)Ⅱみぎ)の両端を結び合わせるわけですね。日本では、「結び」には、重要な意味があります。新しい価値、命が生まれることでもあります。「生(む)す霊彦(ひこ)」で「息子(むすこ)」、「生(む)す霊姫(ひめ)」で「娘(むすめ)」になるのです。神職の服装は、和装(わそう)ですよね。和服の事を呉服(こふく)といいます。中国の古典「書経」の中の言葉である「五福」と同音です。その五福とは、人生の五つの幸福の事で、「長寿」「豊かな生活」「無病」「徳を好む」「天命を全うすること」であります。したがって、「うまれかわり」「よみがえり」、常に若々しく、常にみずみずしくありたいという清らかな、「常若(とこわか)の心」で、人々の五福を祈る姿が、神職の原点であるうと思えます。

◇欧州危機・超円高・新興国の台頭など日本を取り巻く環境は、大きく変わりますが、やはり、原点回帰で、新しい命が生まれ、整い、さらに勢いが強くなるという、縁起のいい今年の壬辰(みずのえたつ)の干支(えと)にあやかりたいものです。

◇十二月の祭典行事報告

- ▼月次祭 *十二月一日、十五日
- ▼祈漁祭 *十二月三日※海土郷恵比寿神社
- ▼大注連縄おろし *十二月四日
- ▼神宮月次祭奉仕(左の上の写真)



▼田の首八幡宮注連縄おろし *十二月二十三日

▼正月臨時巫女説明会 *十二月二十三日

*右の中の写真

▼大祓式、除夜祭 *十二月三十一日

*右の下の写真

◇一月の祭典行事予定(報告も含む)

▼歳旦祭

*本宮 一月一日 午前八時 祭典後、新年拝賀

*福浦金刀比羅宮 *一月一日午前0時半

*田の首八幡宮 *一月一日午前一時



*貴布禰神社(老町) *一月一日午前六時半

▼元始祭 *一月三日 午前九時

▼会社安全祈願祭参拝 *一月四日〜五日

▼早起会参拝 *一月九日

▼福浦金刀比羅宮初月次祭 *一月十日

▼六連島八幡宮歳旦祭 *一月十一日

▼どんど焼き *一月十五日(上の写真)

▼朝粥会 *一月二十一日※七草粥を頂きました!

◇一月の宮司の行事会議等(報告も含む)

▼当宮関係団体

◇早起会新年会 *一月九日

◇維蘇志会新年例会 *一月十五日

▼山口県神社庁、同下関支部関係

◇山口県神社総代会役員会、山口県神社庁臨時役員会、山口県神社庁参与会

*一月二十日

◇下関支部三役会 *一月二十一日

◇下関支部臨時幹事会 *一月二十四日

◇下関支部総会 *一月二十五日

▼教誨(きょうかい)活動

※美祢社会復帰促進センター

*一月十六日(集合女子)

*一月十八日

※刑務開始時指導ならびに釈放前講話

▼西ロータリークラブ

◇例会 *一月十八日

◇RI二七二〇地区IM

*一月二十一日

◇メーキャップ *一月十二日、十三日、十六日